



MESSAGE NOTES

単なる食事以上のもの

使徒の働き 2:42-47

ロイド・フラハティ

なぜ私たちは一緒に食事をし、共に歩むのか？

神様は、偉大なことを成し遂げるために、食事を共にするといったささやかなことを用いられることがあります。

1. イエス様は食事をきっかけに人との絆を深めた

イエス様は、あらゆる人々と食事を共にしました。食事そのものが目的ではなく、人とのつながりが大切でした。食事は、人々にペースを落とし、つながり、そして一体感を得る時間を与えてくれました。

使徒の働き 2:42-47 彼らはずっと、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしてきた。すべての人に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議と奇蹟が行われていた。信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。そして、毎日心を一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。主は毎日、救われる人々を加えて一つにしてくださいました。

2. イエス様は食事を通じて自分の思いを分かち合われた

十字架にかけられる前夜、イエスは弟子たちを集めて食事を共にされました。神様は、信仰を強め、励まし、絆を深めるために、しばしばありふれた瞬間を用いられます。

3. 初代教会は、食事を通じて家族のような絆を築いた

信者たちは共に礼拝し、共に祈り、共に学び、そして共に食事をしました。こうした活動を通じて、見知らぬ人同士が友人になり、友人は家族のような存在になりました。

まとめ

社交的である必要も、たくさん話す必要もありません。ただそこにいることが大切なのです。

食事が目的ではありません。ハイキングが目的でもありません。目的は、神様が私たちに求めておられるような家族になることです。食事は、神様がその目標に到達できるよう助けてくださる、数ある方法の一つなのです。